

係船作業に関する外国船舶への安全啓蒙活動について

令和元年 10 月 16 日

国土交通省海事局総務課

外国船舶監督業務調整室

平成 21 年 3 月、神戸港で発生した綱取り作業員 2 名の死亡事故を受けて、神戸運輸監理部では、平成 22 年度より、ポートステートコントロール（PSC）実施船舶に対する係船装置の安全に関するキャンペーンを実施してきました。

係船装置の安全については、IMO において検討が開始されているように国際的な課題となっている状況に鑑み、地方運輸局等の外国船舶監督官による全国規模での安全啓蒙活動を平成 27 年度から開始しました。

平成 30 年度においては 168 隻の外国船舶に対して安全啓蒙活動を行い、訪船した船舶の係船装置の管理状況及び乗組員の安全意識についての調査を併せて行いました。

時期及び対象

実施期間：平成 31 年 2 月 25 日（月）～3 月 8 日（金）（2 週間）

対象船舶：本邦各港において PSC を実施した外国船舶

啓蒙活動

PSC を実施した船舶に対して、昨年同様リーフレット（英文）により係船装置及び係船作業に関する安全啓蒙活動を行い、係船作業に携わる港湾関係者に対しても同様のリーフレット（和文）による啓蒙活動を行っています。損傷している係船索については欠陥を指摘し、改善を要求しました。

確認された状況

